

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 5 月 26 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡市
住 所 東区土井2丁目2番22号
株式会社大高工務店
氏 名 代表取締役 田中道佳
電話番号 092-691-7696

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大高工務店
事業場の所在地	福岡市東区土井2丁目2番22号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	3.5億円
③ 従業員数	7人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)

代表取締役(総括責任)

工事部長(廃棄物担当)

主任・現場監督員



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	3,830.36 t	127.33 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	排出量	45.17 t	4.35 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類（石綿含有）
	排出量	7 t	49.58 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	排出量	3.5 t	3.5 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
排出量	3.38 t	3.12 t	
産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃たたみ	
排出量	0.01 t	1.84 t	
（これまでに実施した取組） 廃棄物の排出量が抑制できる工法の提案を行っている。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	10 t	5 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	排出量	0 t	1 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類（石綿含有）
	排出量	1 t	5 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	排出量	1 t	2 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
排出量	2 t	2 t	
産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃たたみ	
排出量	0 t	1 t	
（今後実施する予定の取組） 廃棄物の排出量が抑制できる工法の提案を行う。 梱包材の簡素化をする。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組んでいる。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建設リサイクル法の特定資材以外も引き続きリサイクルに取り組む。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類（石綿含有）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃たたみ	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類（石綿含有）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃たたみ	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 4 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類（石綿含有）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃たたみ
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類（石綿含有）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃たたみ	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類（石綿含有）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃たたみ	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類（石綿含有）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃たたみ	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

【前年度 (4年度) 実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
		全 処 理 委 託 量	3,830.356 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,954.436 t	61.600 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3,830.356 t	127.325 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産業廃棄物の種類		金属くず	ガラスくず等
	全 処 理 委 託 量	45.170 t	4.350 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	4.350 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	45.170 t	4.350 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(これまでに実施した取組)			
再生資材として利用できるものは、再生資材として販売している業者へなるべく委託するようにしている。			

【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
		全 処 理 委 託 量	10 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	10 t	5 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	10 t	5 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産業廃棄物の種類		金属くず	ガラスくず等
	全 処 理 委 託 量	0 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	1 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
再生資材として販売している処分業者で尚かつ優良認定処理業者へ委託するように検討する。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

①現状

【前年度 (4年度) 実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類 (石綿含有)
全 処 理 委 託 量	7.000 t	49.580 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	40.700 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	7.000 t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	プラスチック類 (石綿含有)	ガラスくず等 (石綿含有)
全 処 理 委 託 量	3.500 t	3.500 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	3.500 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t

(これまでに実施した取組)

優良処理業者へ委託をするように努める。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類 (石綿含有)
全 処 理 委 託 量	1 t	5 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1 t	5 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	1 t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	プラスチック類 (石綿含有)	ガラスくず等 (石綿含有)
全 処 理 委 託 量	1 t	2 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1 t	2 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t

(今後実施する予定の取組)

引き続き、優良処理業者へ委託をするように努める。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

①現状

【前年度 (4年度) 実績】

産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	3.380 t	3.120 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	3.120 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	3.380 t	3.120 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	蛍光灯	廃たたみ
全 処 理 委 託 量	0.010 t	1.836 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.010 t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.010 t	1.836 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t

(これまでに実施した取組)

なるべく、分別に心掛け、混合廃棄物の量を減らすように努めている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	2 t	2 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2 t	2 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	2 t	2 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	蛍光灯	廃たたみ
全 処 理 委 託 量	0 t	1 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t

(今後実施する予定の取組)

引き続き、分別に心掛け、混合廃棄物を減らし、優良処理業者に委託するように努める。